

令和7年度 府中市立白糸台小学校経営報告

府中市立白糸台小学校
校長 堀越 新一

1年間の教育活動について報告いたします。数値は、4～6年生に実施した後期児童アンケート（「児」と表記）、または後期保護者アンケート（「保」と表記）の肯定的回答の割合です。％は「とても思う」「だいたい思う」を合せた肯定的回答率です。（+＝昨年比）それ以外の調査については別に記しています。

すでに、白小だより特別号でお伝えしている内容との重複がありますのでご承知おきください。

1 学校経営方針「笑顔あふれるみんなの学校～認めて ほめて 伸ばす」

①児「先生がよいところをほめてくれる」85.9%（+4.7）

保「教職員は児童の声に耳を傾け、親身になって受け止めようとしている」85.2%（-2.5）

保「家庭はお子さんの声に耳を傾け、親身になって受け止めようとしている」100.0%（+0.6）

②児「自分にはよいところや得意なことがある」90.8%（+1.4）

子供たちの活躍する場を設け、その中で子供の行動や言葉を「なぜよかったのか」が分かるよう価値づけ、ほめていくことを教職員共通理解して取り組んできました。教員がよいところをほめてくれると感じるようになった子供が増加し、自己肯定感も高まり、「よいところがある」と思う子供が増え9割を超えました。しかし、保護者の教員が子供の声を受け止める姿勢についての評価は下がっており、私たちの姿勢が、子供を感じるほどには保護者に伝わっていないことが分かります。一方、保護者は、自身は子供の声を受け止めているとの回答が100%となっています。家庭で子供の声を受け止めていただいていることが、子供の自己肯定感の高まりにつながっていると考えられます。私たち教職員も子供の声を真摯に受け止め寄り添っていくよう、引き続き心掛けていきます。

2. 知『進んで学ぶ子』【重点】

①児「授業で学んだことを理解できている」95.5%（+3.3）

児「クロームブック（タブレットパソコン）」を学習で使っている」87.7%（-6.4）

校内研究として全教員で「主体的に問題を見だし解決する子供の育成」を目指し、授業改善を図りました。昨年度も「理解できている」児童が増えましたが、今年度はさらに増えました。一方、端末を用いての学習については、使っている意識が低下しています。昨年度はとにかく授業で使ってみよう取り組みましたが、様々な使い方が分かってきたため、より有効に活用することを考えました。例えばノートに記述する方が有効な場面では、端末の使用より優先することもありました。しかし、これから端末の活用は子供たちにとって重要なことには変わりありません。タブレット端末も新しくなります。さらに有効な活用を探っていきます。

②児「学校の勉強が好きである」69.9%（-5.1）

課題となりました。学校の勉強が好きな児童が7割を下回りました。教員の指示で動いたり、黒板の文字を写したりの教師主導型の授業から、子供が主体的に学んでいく学習に改善することで学ぶことが好きになる子供が育つと考え実践してきました。タブレット端末の活用とも関連があるのかもしれませんが。この結果を受け止めて原因を考え、さらなる授業改善に生かしていきます。

③児「宿題や自主学習など家で勉強する習慣がついている」77.3%（+3.1）

まだ十分とはいえませんが、昨年より習慣がついたと自覚する子供が増えました。家庭の協力を感謝いたします。指示されてやる勉強は効果が半減、習慣化し自ら学習に臨む姿勢はこれからも求められます。

3. 徳『助け合う子』

①児「自分からすすんであいさつをしている」 88.4% (-0.3)

保「お子さんは基本的な生活習慣（挨拶、言葉遣い、早寝早起きなど）が身に付いている」 87.3% (+2.7)

家庭で生活習慣が身に付いてきていることはたいへんうれしいことです。地域の方からよい挨拶ができているとの声が届く一方、見守りの方から「声を掛けても返事が返ってこないことがあるので心配」という声も届きました。私たち大人が範を示し、子供たちを核に、挨拶の飛び交う地域になればと思います。

②児「いじめや仲間外れをせず、友達と仲良く生活をしている」 94.5% (-1.6)

昨年、肯定的回答が増えましたが、また一昨年程度に戻っています。けやきの森学園児童との直接交流、今年度もインクルーシブソーラン節をけやきの森学園の児童、生徒と一緒に取り組むなど交流を深めました。縦割り班による活動を充実させ、異学年交流も進めました。端末で子供の心の状態を把握しようと「心の天気」も実施し早めの悩み把握に努めました。引き続き「自分も友達も大切」という子供を育てていきます。

4. 体『たくましい子』

①児「体育や休み時間はすすんで運動しようとしている」 79.5% (+1.8)

熱中症対策期間もあり、子供の外遊びを制限せざるを得ない状況の中、やや改善が見られました。体力調査でも、課題であった持久力が上学年で都平均程度まで伸びてくるなど成果も見られました。しかし持久走タイムや縄跳び週間で運動の機会を与えてきましたが、日常の運動への意欲にはつながっていない点引き続き課題です。

②児「自分の安全は自分で守ろうと心掛けている」 98.9% (+0.1)

自らの健康、安全に関心を持ち、自己管理できる子供を目指し、目標をもって避難訓練等に取り組んできた成果が出ていると考えます。

5 今年度の取組

①個別最適な学びと協働的な学びの実践

・校内全教員で、外部講師の指導を受けながら授業改善を図りました。府中市グランドデザイン4つの視点が授業の中に位置付けました。4つの教科で専門の外部講師を招き、授業改善に向け指導をいただきました。（成果については2参照）

②55周年を地域とともに祝う（地域との連携・発信）

・保「学校は教育方針や活動内容、児童の様子を保護者会、
学校公開や学校だよりなどで伝えている」 95.8% (-1.1)

正門掲示板を定期的に更新し、地域の皆様に学校の様子を伝えました。学校ブログも更新しながら、各学年、行事等の様子を伝えましたが、閲覧数が少なくなっていることが課題です。引き続きブログにより学校の情報を発信します。参観保護者会を継続し、学校公開以外でも授業を見ていただく機会を確保します。

全国学力学習状況調査「地域な社会をよくするために何かしてみたい」に「そう思う」の回答

全国平均+11.7ポイント（都平均+12.8）

子供の発想を具現化して、昨年度から55周年を全校や地域で祝う取組を複数計画しました。卒業生講話の機会をいただき、本校第1回の運動会の映像を全校で観ることもできました。調査の結果が示すように地域への関心が高まりました。

③学年としての指導の充実

・全学年で道徳の交換授業を実施し、担任する学級だけでなく学年すべての児童の実態把握に努めました。昨年同様教員からは、他学級児童の様子がより分かるとの声が複数上がっています。専科教員もそれぞれ学年の業務も担当し、子供の指導に当たりました。

6 特色ある教育活動

①タグラグビークラブ（白小フェニックス）の活動

・保護者の協力もいただきながら活動ができました。府中市フォーリスカップで優勝するなど、練習の成果を発揮することができました。熱中症対策、指導する教員の負担も考えながら練習方法を工夫しました。

②和太鼓クラブの活動

・講師の土方先生の指導の下、週2回の朝練習やクラブ活動の時間で練習をしています。教員も指導や引率を行っています。文化センターまつりなど地域で演奏し、地域の方に喜んでいただきました。府中市青少年音楽祭でも発表の機会をいただきました。楽器の運搬補助など保護者にも協力いただきました。

③白小合唱団

・音楽専科教員を中心とした指導で週1回の朝練習を中心に練習を重ね、様々なコンサート、府中市青少年音楽祭で成果を発表しました。保護者にも練習や引率、伴奏等で協力いただけるようになりました。

和太鼓クラブ、白小合唱団は、校内でも全校児童の前で演奏する機会をもちました。今年度、白小合唱団は地域貢献が認められ、東京都教育委員会から表彰状をいただきました。

3クラブとも教員が課外のクラブ活動の指導を担っています。教員の働き方も考慮し練習方法を工夫しながら、持続可能な取組となるよう考えています。

7 その他

①児「学校は安全なところである」92.9% (+1.9)

保「学校は施設や設備を管理し、健康で安全にできる環境となっている」85.9% (-3.0)

保「学校は児童の安全について配慮している」90.8% (-2.4)

子供は9割が安全と答えており、おおむね安心して通えているようです。今年度は不審者侵入防止の対策として子供たちの在校時は南門、北門を施錠し、正門は警備員が見守るようにしました。警察を講師として教職員の不審者対応訓練も実施し、子供の避難については警察から評価もいただきました。しかし子供たちの安心感が高まったものの、保護者の肯定的回答は両問とも昨年比低下しており課題と捉えています。そこで来年度は使用児童が減る南門を登下校時も閉門施錠し、さらに不審者対策を強化します。

②児「学校へくるのが楽しい」85.2% (-1.1)

保「お子さんは楽しく学校生活を送っている」92.3% (+0.3)

昨年度に引き続き保護者の皆様の9割は楽しく学校生活を送っていると感じてくださっています。子供は昨年度、肯定的回答が増えたものの今年度は低下しています。学校の勉強が好きの設問の肯定的回答が低下していることと考え併せ、引き続き子供の「できた」「分かった」がたくさん見られる授業を目指していきます。

③全国学力学習状況調査「読書が好き」75.5% (全国平均+5.8)

本校は読書好きの子供が多いです。PTA「きりんの会」による読み聞かせ、「たんぼぼの会」による図書室環境整備が、子供の読書への関心を高めていると思われれます。PTAの協力に感謝しています。

④働き方改革

端末活用、時間設定の工夫等で会議時間の精選を図り、授業準備の時間を確保しました。月45時間以上の時間外勤務の教職員ゼロを目標としましたが、改善傾向にあるとはいえ、月当たり平均17.8%の教員が時間外勤務45時間を超過しており、引き続き課題となっています。端末の業務への有効活用、学校行事のさらなる精選、課外クラブ担当教員の指導への関わり方など引き続き検討していきます。